

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-03 □支援部門		商工運営事業						
主管課	観光商工課(産業振興課)		関連課						
分野名	産業振興								
目標 (目標値)	市内商工業の振興を図る。また、商工業振興に係る庶務的業務及び中小企業等協同組合法等に係る法定事務を円滑に行う。								
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考				
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	4,424	108,334	2,368					
	(国・県)	1,712							
	(負担金等)	360	300	300					
	(一般財源)	2,352	108,034	2,068					
	人員配置数	0.2	0.2	0.2					
	人件費(千円)	1,785	1,831	1,837					
	協働のパートナー								
事務事業運営経費	総事業費(千円)	6,209	110,165	4,205					
	市民1人当りの経費(円)	35	622	24					
	対象者1人当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒								
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
		目標値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
商工運営事業	4,424千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	商工事務事業に係る庶務的業務、中小企業等協同組合法等に係る事務、姉妹都市物産展の開催、競輪撤退に係る事務を行う。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	姉妹都市物産展各市負担金の見直しが必要である。
課題解決のための取組	各姉妹都市の負担金を増額した。
未解決の課題	3市1組合共催川崎競輪事業からの撤退に伴う補償の問題解決を図る。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			市内商工業の振興を推進し、商工業振興に係る庶務的業務及び法定事務の円滑執行を図る。	↓ B	課長等名 課長(代理) 竹沢 至

